

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 広島県 】

|                          |                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 実践テーマ                  | 【 V 】                                                                                                                                                                                                          |
| 2 実施対象者                  | 尾道市立因島南中学校 2年生 男女 59名                                                                                                                                                                                          |
| 3 展開の形式                  | (1) 学校における活動<br>① 教科名 ( 保健体育科 )                                                                                                                                                                                |
| 4 目 標<br>(ねらい)           | 保健体育科における陸上競技(短距離走・リレー)に対する興味・関心の向上と運動部活動(冬季体力づくり：放課後一斉10分間走、地元駅伝大会への参加)の活性化のため<br>障害をもつアスリートの講演を聞くことによって障害者に対する意識を変えるため                                                                                       |
| 5 取組内容                   | パラリンピック男子陸上競技選手を招き、講演を聞く。5歳から右腕の病気と闘い、中学3年生から高校・大学まで陸上競技を続け、2016リオ・パラリンピック、2018アジア大会パラ競技に出場するまでの活動を聞くことによって、より高い目標をもつことの大切さを学ぶことができた。                                                                          |
| 6 主な成果                   | 11月から始めた冬季体力づくり(放課後一斉10分間走)に対する姿勢が意欲的になり、全部活動が参加する地元駅伝大会へ向けて、全力で取り組むことができた。また、12月からは保健体育科の授業における「長距離走」において、各生徒が自分の目標タイムを設定し、記録向上を目指して意欲的に取り組む姿が見られるようになった。また、運動部だけでなく、すべての部活動においても高い目標を掲げ、全員で努力する姿が見られるようになった。 |
| 7 実践において工夫した点<br>(事業の特色) | これからの因島南中の部活動を含め、学校全体を引っ張っていく2年生に講演を聞かせ、意識を変えるように試みたこと。<br>障害者理解についても、講演を聞くことによって、より深めることができると思ったこと。                                                                                                           |
| 8 主な課題等                  | 講義だけでなく、走るフォームやトレーニング内容等の実技指導を含めた内容であれば、より効果的であったと感じている。                                                                                                                                                       |
| 9 来年度以降の実施予定             | 保健体育科の授業や定期テスト・長期休業中の課題等において、オリンピック・パラリンピックを取り上げることによって東京オリンピック・パラリンピックへの機運を醸成する。                                                                                                                              |